

梅雨晴や雲切々に星まばら
紫陽花や線香くさき寺の門
植える田や晴より雨の賑やし
虹消へる雨に涼しき田圃かな
五月雨や届く封書の糊はなれ
母衣懶や罪なき夢にうかさるゝ
納涼舟ハシカチふりし人戀し
田五作の顔だけ黒き浴衣かな
髭はやす歸省の兄の浴衣かな

短歌募集

▲課題 隨意

▲切 八月二十日限り

▲発表 本誌上

▲賞品 三光に粗景を呈す

▲撰評 みどり短歌會

▲投稿 用紙隨意、字体鮮明、左記の處宛に送らるべし

伊勢國河藝郡稻生村

みどり短歌會

平和 眞宮起雲

幸なれや姫か優手に活けられて神のみまへに匂ふ白百合
獨たどる夢路はるか海原や山も見分かつたゝ浪あらし
終日にしなれし草木夕べ露にひとは信のいづみに活きむ
うなぬ等が唄ふ罪なき譜に和して眞白き髻の翁立ち舞ふ
エンセルの忘れがたみか翼生は御相宛然神にふさはし
朝顔は露にひかり得人は子の笑まひのそれに平和を見る
あさもやに室の音こもり神苑の紅蓮白蓮にほひあふるゝ
青によし奈良のふるやに歌おもひ聞かば興ある子規かな
市に出て歌玉うらむ藝なし野のゆふへをば泣かば事足る
よるこびはあしたに開く白蓮と愛の光のそらに充つる時

讀書の葉

家庭 教育 繪ばなし

繪を見たりかいたりするのは、子供の非常に喜ぶ
ことであつて、殊に見る繪が自分等の平生親しく
知つて居るものであると、其喜は又格別である。
子供にこんな繪を興へることは、其美の情を養ふ

上からも、知識を興へる上からも、はた娛樂を興へる上からも、教育上頗る必要であるのに、我國では今まで、子供の爲といふ繪が教育的に出来て居なかつたのは、兒童教育上頗る遺憾であつた。あるものといふのは、彼の縁日や何かに出て居る、俗悪極まる畫題で、其彩色も何も丸で劣等であつたのである。

こゝに紹介する繪はなしは、教育上この缺陷を補はんがために出たもので、表紙の体裁から、中の印刷から、極めて見事である、紙も至極の上等で頁數は表紙とも十六頁、其中表紙ともに入頁は三色刷りの美麗な色刷りで、後は一度の石版刷り畫題は最も注意して子供に興味のある動物や鳥類や遊びの有様などを面白く畫いて、其間にちよいと僅ばかりの文字を入れて居る。子供の繪本

としては、至極上出来といつてよい今既に一號と二號とが出た、定價は一冊六錢發行所は神田錦町一ノ十の、家庭教育會

なぐさめ草

加持世界といふ佛教雜誌の附録で、遠征の軍人慰問の目的で出来た小冊子併し。頁數は一三〇頁に餘つて居る。收むる所は最近の御製八十首を始めとして小説、詩、歌、俳句、説教等一々誦して自ら慰むべきもの殊に可憐なる小學兒童の時局に關する手紙數十篇を細かき字にて挿入したるはよき思ひ付なり（發行所は小石川大塚阪下町一七、加持世界支社）。

軍人慰問と親鸞上人小傳

文書傳道會といふのがあつて、そこから一冊三錢づゝ、宗教上の書物を出版して發賣す

る、二冊とも其中の冊子である、前者は軍人傳道の爲めで例へば補正成の宗教とか、繁十郎の奉公とか、忠と他力教とかといふ題を以て、平易に説いて居る後者は聖人の傳を極めて簡潔に述べて居る。

保育者のため

遊戯につきて

松本孝次郎

この一篇は嘗てフレイベル會上に於て成されたる演説の筆記なり

私は餘程以前から子供の遊戯のことを研究して見たいと思ふて居りましたが、御承知の如く幼稚園の仕事を自身でやつて居るのでございませぬからどうも其便利を得なかつたのでございませぬけれども、段々此フレイベル會の幼兒研究の組合の方々

に相談致しまして、會員の方々の御經驗を伺ひ、私も亦問題を提出致しまして皆さんの御意見を伺ひなごしてから、次第々々に遊戯といふこと自分の考といふものは段々明瞭になつて参りました、それで其問題に就かしまして自分の自身に調べました道行を申しますと、初には此日本に現に行はれて居ります様な遊戯は、どれ位昔から傳つて居つてどういふ變遷があるかといふことを最初に心掛けて見たのであります、其方で申しますと、現今迄傳つて居る遊戯の行れて居りましたことは、餘程昔からあることとございまして、それで其變遷が政治の方で天皇の権力の御隆んであるやうな時代も、亦北條時代といふ様な武家が跋扈して居たやうな時代も、通じて割合に變りませぬところのものは、子供の遊戯のやうに考へら